

## 平成27年度「研究大学強化促進事業」フォローアップ 進捗状況概要 高エネルギー加速器研究機構

### 目 的

- ・本機構における研究力向上に資する集中的な研究環境改革の取組みとして、新たな機構組織としてURAを配置した「研究支援戦略推進部」を設置し、その中に「研究支援企画室」、「国際連携推進室」、「大学・産業連携推進室」、「知的財産室」及び「つくばイノベーションアリーナ推進室」を設けて研究力を強化し、多国籍参画ラボと多企業参画ラボを実現して、研究のグローバル化と技術のイノベーション化を強力に推進することを目指し、研究環境の改革、支援体制の充実を図る。
- ・本機構の特徴である大規模化する国際プロジェクトの推進、研究に不可欠な先端的技術開発及び数多くのユーザーが利用する大学共同利用実験の支援を実施するなど、研究力の強化に向けた取り組みを推進する。
- ・将来の加速器科学分野を担う若手研究者及び女性研究者の育成を目指す。

### これまでの実績・進捗状況

- ・H26年に、5室、2ラボからなる「研究支援戦略推進部」の設立と人員体制を整備した。
- ・URAの採用に向け、H25年度にURAの給与体系を整備した。
- ・研究者の負担を軽減して研究力を強化するために、各部署に十人規模の人員を配置して、各種の業務支援を行っている。
- ・研究活動全般にかかる支援ツール(CAD、3Dなどのデザイン・システム、WEB会議システム、加速器等運転情報掲示板等)を整備・充実した。
- ・外国人研究員の日常生活を支援する「外国人研究員等滞在支援業務」を実施している。
- ・大学共同利用に関する研究成果データベースを整備するために「研究成果管理解析システム」を導入するとともに、データベースによる研究動向の分析を行っている。
- ・若手研究者の人材育成のための各種スクール等の開催を統一的行うことを目指したサポート活動、「コンサルテーション業務」を開始した。
- ・様々な国際会議やワークショップ等の開催支援や日本語クラスの開設などの外国人研究者支援など、国際共同研究、国際交流の推進を図っている。
- ・地元の自治体(県、市)、企業などと継続的なイノベーション対話を行い、その結果、外部資金の獲得や新たな放射光の施設利用につながった。
- ・機構の研究者の科研費等の外部資金獲得のための支援を行った。
- ・知財管理システムが導入され、その運用が開始された。
- ・多国籍参画ラボ構想の実現に向け、機構にCERN分室(CERNには、KEK分室)を設置した。
- ・国際科学イノベーション拠点の整備を支援するとともに、これを包含する多企業参画ラボの具体的な構想を策定した。
- ・TIA(つくばイノベーションアリーナ)における活動を通して、SiC半導体素子などの共同研究の導入や大型の外部資金の獲得に成功した。
- ・大小の民間企業や大学・研究機関からなるコンソーシアム(ERL+FEL方式のEUV光源開発のための勉強会)の設立に貢献した。

### 今後の課題と展望

- ・H27年度中に、多国籍参画ラボの制度を制定し、H28年度より運用を開始することを目指すとともに、二機関協定に基づく分室を増やすことに努める。
- ・H27年度中に、多企業参画ラボの制度を制定し、H28年度より本格的に運用を開始することを目指す。
- ・URAの人事評価制度を整えるとともに、URA以外の人事制度の見直しを行う。
- ・第三の原資とも言われる一般寄附金の獲得を拡大するための体制を整備し、寄附金額を増やして、機構の財政基盤の強化を図る。
- ・女性研究者のための生活及び研究環境を整備するため、「育児支援室」の設置やワーク・ライフ・バランスの実現を図る。
- ・(科研費以外の)大型外部資金の獲得や企業と連携して国プロなどの資金獲得を目指す。
- ・次期5か年計画の事業策定に向け、機構のIR機能等の強化についても検討を開始する。

### フォローアップ結果

評点区分：順調に進んでいる

#### 全体を通じた所見

- 大学共同利用機関法人としての研究力強化構想に、本事業が総合的に明確に位置づけられ、研究支援戦略推進部を設置し、統括URA、主任URA、URA等を配置し、URA制度を活用するための体制整備が着実に進展しており、おおむね順調に取組が進んでいることが確認された。  
今後の展開を期待するとともに、他の研究機関のモデルケースとなることが期待される。

#### 特に優れた点

- 研究支援戦略推進部に5つの室(「研究支援企画室」、「国際連携推進室」、「大学・産業連携推進室」、「知的財産室」、「つくばイノベーションアリーナ推進室」)を設け、それぞれにURAを配置し、研究機関内の役割の明確化と連携を図りつつ、URAを積極的に活用しようとする意欲的な取組である。

#### 期待する点

- 統括URAについては、フォローアップ時点で欠員となっているため、早期の後任補充が望まれる。